

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	京都大学	整理番号	J - 4
拠点のプログラム名称	東アジア世界の人文情報学研究教育拠点		
中核となる専攻等名	人文科学研究所		
事業推進担当者	(リダー) 高田 時雄 外12名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>東アジア諸国は長期にわたり豊かな漢字文化を育んできたが、それを体現してきた東アジアの伝統的人文学は21世紀の情報化社会において大きなチャレンジを受けている。新しい情報化された世界においても十全に伝統を保持し、世界文化の重要な一翼を担い新たな発展を目指すためには、東アジア人文学を情報学的基盤によって再編成することが不可欠である。そのため京都大学における東洋学研究の長い歴史と輝かしい伝統を基礎としながら、最新の技術を駆使して漢字文化の情報化を推進するとともに、漢字を根幹とする東アジア言語文化の徹底した整理を試み、そのトータルな継承発展を目標とする学際領域としての東アジア人文情報学の拠点を形成する。さらにこの分野を担う人文情報学の人材を長期にわたって確保していくため、外国機関との提携を基礎に、海外拠点や国際的セミナーの開催を通じて、若手研究者の育成を図り、東アジア規模での人文情報学的ネットワークを構築する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>情報科学とも人文科学とも違う新たな学際領域「東アジア人文情報学」として漢字文化圏における人文学を再構築するという明確な目標をもつ研究教育拠点になることを期待する。中国学の伝統の上に、漢字文化の継承と発展をうながすナレッジベースの構築、新しい方法論の開発普及、この分野での人材養成に期待する。</p>			